

第 11 回大網白里市道の駅整備検討委員会 議事要旨

議 事 概 要	
名 称	第 11 回大網白里市道の駅整備検討委員会
年 月 日	令和 8 年 5 月 20 日 (水) 9:30~10:30
場 所	保健文化センター 3 階ホール
出 席 者	<p>【委 員】 14 名中 10 名出席 (名簿順) 委員長 寺原 譲治 副委員長 加藤 文男 委 員 久我 一雄 委 員 星野 八千代 委 員 内山 信男 委 員 加藤岡 美佐子 委 員 手塚 智仁 委 員 齋藤 壽彌 委 員 今井 健太 委 員 小西 一裕</p> <p>【事務局】 企画政策課 市 長 金坂 昌典 副市長 堀江 和彦 課 長 飯高 謙一 副課長 茂田 栄治 主 査 齋藤 友康 主 査 鈴木 公治</p>
欠 席 者	委 員 市東 剛 委 員 安川 覚 委 員 山野辺 昌浩 委 員 内山 充弘
傍 聴 者	9 名
議事等の概要	議 事 ① 民間活力導入可能性調査の報告について ② その他

発言者	発言内容
寺原委員長	<p>次第1 開 会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より会議成立の報告 <p>次第2 委員長あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寺原委員長より挨拶
事務局	<p>次第3 議 事</p> <p>議事① 民間活力導入可能性調査の報告について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より「白里海岸拠点の整備・運営に向けた民間活力導入可能性調査 報告書」により、調査結果について説明 <p>【説明概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設規模 1560 m² ・事業手法 公設民営（DB+O×EOI方式） ・建設手法 盛土またはピロティ構造により嵩上げを実施 ・概算事業費 約18.1億円（うち市負担額約10.3億円） ・財政影響 新規事業や普通建設事業の抑制を継続することを前提に、道の駅を整備しても市財政の健全性に大きな影響を及ぼさない見込み <p>《質疑応答・意見》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見なし
金坂市長	<p>議事② その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市長より「道の駅整備に関する今後の方針」について説明（市長説明発言のまま） <p>委員の皆様におかれましては、平素より本市の行政運営、とりわけ道の駅整備に関する検討に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。</p> <p>私からは、ただいま事務局から説明のありました民間活力導入可能性調査の結果と、それを取り巻く本市の財政状況や社会経済状況の変化を踏まえ、市としての見解を整理しましたので、道の駅整備に関する今後の方針について、ご報告申し上げたいと思います。</p> <p>市では、令和5年12月に本委員会を設置し、道の駅整備に関する検討を再開いたしました。令和6年度には、委員の皆様のご協力のもと道の駅基本構想を策定し、令和7年度には民間活力導入可能性調査を実施したところでございます。そして、先ほどの事務局からの報告のとおり、同調査では、道の駅の整備は本市の</p>

財政健全性に大きな影響を及ぼさないとの結果が示されており、この結果に基づき、このまま整備を進めるという判断も可能な状況であると認識しております。

しかしながら、同調査では、今後も経常収支比率の上昇が見込まれており、市の貯金であります財政調整基金を安定的な水準に保つためには、新規事業における選択と集中を徹底し、普通建設事業費の抑制を継続することが前提とされております。

一方、令和6年に実施した市民アンケートでは、道路整備や下水道・排水対策など、生活に直結するインフラ分野への重点的な改善を求める声が多数寄せられており、市民ニーズを踏まえすと、調査結果が前提とする「普通建設事業費の抑制の継続」は、現実的に厳しい状況となっております。

さらに、国際情勢を背景とする物価高騰や人手不足等、公共事業全般の事業費が当初想定を大幅に上回る見込みとなっております。なかでも新ごみ処理施設の整備費や金谷川の河川改修費の増加、さらには老朽化施設への対策においても、避けて通れない財政需要が急増しており、本市を取り巻く状況は、令和5年度に検討を再開した当時よりも一層厳しさを増している状況でございます。

このような状況の変化を踏まえ、道の駅整備の判断については、民間活力導入可能性調査の結果のみならず、その前提条件や本市の財政状況、市民ニーズ、そして道の駅整備を進めることで抑制を余儀なくされる他事業への影響などを総合的に勘案し、慎重に検討を重ねてまいりました。

その結果、現時点で道の駅整備の検討を継続することは困難であるとの結論に至り、大変苦渋の決断ではありますが道の駅の整備検討は一旦中止とする判断をいたしました。

この判断につきましては、「当初から想定できたのではないか」とのご意見もあるかと存じます。しかし、国際情勢の悪化や急激な物価変動などは、検討再開当時には具体的に見通すことが困難でございました。こうした環境変化に適切に対応し、限られた財源を最も効果的に活用することこそが、責任ある行政運営であると考えております。

私の公約の一つでもある『道の駅整備』の検討は一旦中止しますが、ここは強調させていただきますが、白里地域の活性化が必要であるという認識は変わりません。今後は、道の駅整備にこだわらず、ソフト事業や既存施設の活用など、これまでの検討で得られた知見も活かしつつ、地域の実情に即した施策を検討・実施

	<p>してまいります。</p> <p>最後になります。委員の皆様には、長期間にわたり熱心にご議論、ご尽力をいただきました。会の中でたくさんいただきましたご意見そして白里地域を思う気持ちそうしたものの一つ一つを我々はしっかりと受け止め白里地域の活性化に向け取り組んでまいりたいと考えております。検討途中でこのような結論となりましたことに対し、深くお詫び申し上げますとともに、これまでのご協力に心より感謝申し上げます。</p> <p>《質疑応答・意見》</p> <p>A 委員 事業を行ううえでコンサルタント会社や、これまでサウンディング等で協力してくれた事業者との契約はどうなるのか</p> <p>事務局 調査を委託したコンサルタント会社は、調査報告をもって事業が終了しております。また、サウンディング等に参加いただいた事業者は、契約関係には至っておらず、あくまで意見を伺ったのみとなります。</p> <p>B 委員 具体的な案が出てきて楽しみにしていたのですが、現状を総合的に判断して、やむを得ないということは理解した。 ただし、白里地域の活性化に向けた施策の検討継続とあるが、現在、白里地域にはスーパーがなければドラッグストアもない。いろいろな不便が生じており、さらには人口も減っている。大網駅周辺は人口が増えているが、白里地域は圧倒的に減っている。そういうことを考えたときに、私は白里地域の活性化は最低限でもやっていただければならないと考えております。今後の方針にソフト事業とか既存施設の利活用と書いてあるのですが、具体的な構想はあるのでしょうか。</p> <p>金坂市長 現時点では既存施設の利活用や地域資源を活かしたソフト事業を中心に検討していくことが考えられるが、地域の皆様方の意見を伺いながら、道の駅に代わる効果的な施策についてこれを早期に実施することで、白里地域の活性化を実行してまいりたい。なお、具体的なものは決まっております。</p> <p>C 委員 みんな楽しみに、いろいろ企画をしてきたわけですけど、全面的に中止にするのですか？</p>
--	--

金坂市長	<p>道の駅に代わる施策として、既存の施設の活用やソフト事業も施策を中心に検討してまいりたい。今回の調査で得られた知見は大きなものがありますので、それを活かしたうえでこれからの白里地域の活性化に繋げてまいりたいと考えています。</p>
事務局	<p>次第4 閉会</p> <p style="text-align: right;">-以上-</p>